



木村由美子 議員  
(公明党)

**若者の悩みを解決する「支援サイト」を開設すべき**

**問** 自殺者には多くの若者が含まれており、22年の調査結果では、全死因に占める自殺の割合が、20〜24歳では49.8%、25〜29歳では47.4%であり、交通事故などの不慮の事故を大きく上回っている。

24年1月末に東京都が発表したアンケート結果によれば、最近1年以内に自殺を考えたことがある人のうち、誰にも相談したことがないと回答した人が73.1%にも達しており、パソコンには向かうが、他人と話をすることが苦手な若者が増えている。

そこで、就業相談窓口や法律相談情報、いのちの電話など、パソコンのサイトを開けば必ずどこかに若者の悩みを解決できる道が開けるようなサ

イトの開設について伺う。

**答** 近年、若年層の自殺死亡率が増加傾向にあり、若年層の自殺の問題は深刻さを増している。

市では、市内関係各課の相談窓口と連携しながら、誰もがこころの健康や自殺予防に関する情報入手できるよう、市ホームページなど様々な媒体で相談窓口などを周知してきた。

今後は、若者の医療や就業などの悩みに対応できる、各相談窓口の必要な情報が得られるように、現在のホームページと関係機関のホームページとリンクさせるなど、より利用しやすいものに工夫していく。



**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢（新たな「市の花」の制定と花を生かした緑のまちづくりほか）
- ②うつ対策・自殺予防対策の拡充
- ③高齢者・障がい者福祉の拡充（公共施設や公園、道路、バス停等へのベンチ増設ほか）
- ④防災対策の拡充（消防活動用バイクの導入ほか）
- ⑤食文化・漬物文化の継承と学校給食の取り組み



増淵一基 議員  
(自民党)

**災害時の初期医療体制の充実を**

**問** 災害時に備え、初期医療体制を整えることは、市民の安全安心の確保のため、重要である。

市の地域防災計画では、市医師会の協力のもと、特別救護班を編成し初期医療に当たることとなっており、市医師会でも積極的に取り組み、市でも特別救護班にMCA無線を配備するなど、機能充実に努めている。

医療は、様々な医療従事者が、協力して提供されるものであり、特に、災害時の初期医療体制については、普段から関係団体と緊密な連携を図る必要があると考えるが、初期医療体制の充実に向け、今後どのように取り組むのか。

**答** 市では、市医師会とすでに協定を締結しているが、新たに市歯科医師会、

市薬剤師会、県看護協会、県柔道整復師会と災害時における連携協力について協議を進めており、10月を目途に各団体と協定を締結していく。

さらに関係機関の連携確保のため、協定を締結した医療関係団体や二次救急輸送番制病院等からなる（仮称）災害時医療連携会議を立ち上げ、活動を行う上での課題について共通認識を図り、役割分担や初期救護活動のあり方などについて協議するなど、有事の際の初期救護活動が迅速かつ的確に行えるよう、初期医療体制の充実強化に取り組む。



**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢（宇都宮ブランド戦略、公有財産マネジメントの推進、ベンチャー企業の創出、市の花卉生産振興と普及促進、市公共建築物等木材利用促進方針の策定、景観行政）
- ②環境行政（再生可能エネルギー、ごみの減量化・資源化策）
- ③教育行政（学校教育における食育推進、蒲生君平の功績）



舟本 肇 議員  
(維新の会)

**さらなる「自転車のみち宇都宮」の推進を**

**問** 自転車のまち推進計画に基づき、これまでも様々な取り組みを進め、今や自転車は、餃子やジャズ、カクテルなどと並んで市の魅力を全国に伝える貴重な地域資源となっている。

また最近では、全国からの多くの自治体が自転車のまちづくりをテーマとして視察に訪れており、これまでの取り組みが着実に実を結んでいると感している。これからも、自転車のまち宇都宮にふさわしい全国に誇れる施策事業の実施を期待している。

自転車のまち推進計画に掲げた事業のこれまでの進捗状況と、自転車のまち宇都宮を確実なものとするために、今後更に拡充していく事業などの取り組みは、

**答** 自転車のまち推進計画に掲げた新規・拡充事業

として、自転車走行空間の整備延長を約15kmまで延伸し、サイクリストなどが休憩できる「自転車の駅」の設置や、市の観光資源を巡る「宇都宮自転車マップ」の作成に取り組むなど、計画的に事業を推進している。このような取り組みを通して、自転車のまち宇都宮の評価が全国的に広がりつつあると考えている。

今後は、自転車走行空間の整備や、自転車の駅の設置施設を拡充していくとともに、宮サイクルステーションにおいて、自転車物品販売などの提供サービスの拡充を図るなど、事業の拡充に取り組んでいく。



▲自転車の駅に設置されているラック

**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢（JR宇都宮駅周辺地区の整備と活用、中心市街地の活性化、公共施設等の再配置と見直しと未利用市有地、協働のまちづくり、震災からの復旧と危機管理）
- ②教育行政（ラジオ体操の普及とその取り組み、冒険活動センターにおける宿泊学習の効果）